ロングランシリーズ

消費者問題はいま

提言二〇二〇

〈513〉

吉村美衣子さん

(一般社団法人・日本ヒーブ協議会・新代表理事)

日本ヒーブ協議会新年度方針

「三位一体」共創社会を

「芽」育てるアクション提唱

「今だからこそできる、今でしかできない、そのような"今"を大切にする気持ちで、一つ一つの取り組みに挑戦していきたいと思います」

受け継がれる「日本ヒーブ協議会」のチャレンジ精神。今年四月に横原義梨さんからのバトンを受け、代表理事に就任した吉村美衣子さん。

今後の抱負をこう強調する。

「日本ヒーブ協議会は今年で創立四十二年です。四十周年には、次世代未来像として生活者と企業のこれからを描いた"Design the Future"(デザイン・ザ・フューチャー)を発行しました。その中で、生活者・企業・行政の協働のあり方、その重要性も提起しました。四十周年を契機にまかれた種が、四十五周年へ向けて美しい花となるよう、今年はその芽を育てる思いで取り組んでいきます」

四十年以上の歴史への尊重、それを踏まえた新しい時代へのチャレンジ。

日本ヒーブ協議会はそんな特徴を持つと吉村さん。

「私は自分自身を慎重派と自己診断しているのですが、ヒーブ活動では、会員相互の触発でどんどんチャレンジ精神がかき立てられます。これもヒーブ活動の特徴です」

日本ヒーブ協議会は、働く女性を会員とする異業種・横断的なネットワーク。企業人と生活者という二つの視点を共有し、それを両輪として「生活者と企業のパイプ役」を担う。

パイプ役を果たしつつ、より良い社会創造をめざすには行政との連携・協働が不可欠であることから、生活者・企業・行政を三位一体として位置付け、その「共創」関係の構築を呼びかけている。

今年の活動テーマは「三位一体のデザイン型共創社会にむけたアクション―Innovationの芽を育てる―」というものだ。

「ヒーブ活動の継続性を重視し、これまでの活動内容を一歩進め、深め、広めていく、そのためのアクションが必要との思いで決めたテーマです」

行政との連携では、昨年十二月から今年一月にかけて福岡と大阪で内閣府・男女共同参画推進連携会議とのリレーションポジウムを開催した。

昨年九月には徳島で開かれた「G20消費者政策国際会合」にオブザーバーとして参加した。

その他にも、消費者庁の消費者教育推進会議委員として理事が参画、消費者志向経営推進プラットフォームの構成団体としての活動、など。

消費者行政関係のどの分野にもヒーブならではの視点が求められている。

「生活者視点と経営視点を併せ持つこと、そのようなヒーブの特徴を背景とした新たな価値創造の挑戦、これは重要な役割と認識しています」

新型コロナウイルス感染防止対策は消費生活のすべての場面に重大な影響を与えた。

一方、テレワークの推進は新しいヒーブ活動を生み出す契機ともなった。

「会員の全国的な在宅勤務やテレワークの実施、いずれもヒーブ活動にとって貴重な教訓となりました。オンラインによるウエブ会議は今後の活動に大きく寄与できることを実感させました。四月の総会はウエブ会議も活用し、遠方の会員ともオンラインでお会いできました。また、関西支部と九州支部がオンライン会合を開催、今年度活動のキックオフを宣言しました。移動せずに全国の支部・会員と迅速につながることができたのは貴重な成果で、今後の活動への大きな飛躍となります」

六月三十日に都内で開催した「月例研究会」では、キックオフミーティングや講演会の模様をウエブでも配信した。

「今年度版の消費者白書や第四期消費者基本計画など消費生活に重要な分野を、消費者庁の担当者にご来場いただき、説明していただきました。七月からは新たにInnovationシリーズとして、連続講座も予定しています。今年は"チャレンジ"を基本とし、情報発信にもいっそう力を入れていきたいと思います」

興味深い企画実施が相次ぐ。

吉村さんは、いろんなチャレンジ、実践をめざしたいと手る。その一環としてすでに講演会の予告動画を作成、ヒーブの公式フェイスブックで発信している。

「歴史の重みを感じることなく、会員相互の情報交流を深めながら、お互いの意思を共有し合い、ヒーブならではの新しい価値を生み出していく。その価値の創造へ向け、まずは自分と自分の周りからスタートしていきたいと思います」

吉村さんの思いがどんなヒーブ活動へと実を結ぶか、注目大だ。

よしむら・みえこ

和歌山県出身。京都外国語大学卒。2001年日本興亜損害保険(現・損害保険ジャパン株式会社)入社。保険金支払部門での勤務後、お客様のお困りを起点とした消費者志向経営推進等すすめる事業プランの実現を担うビジネスデザイン戦略部に。日本ヒーブ協議会には16年より参加。18年に理事、19年に副代表理事、今年度総会で代表理事に就任。趣味は「旅行。もともとはインドア派」だが最近の在宅もテレワークによって「散歩することの楽しさを知った」「現在は季節の移り変わりを感じながらの散歩にも興味津々」と。